

輝く女性ひとの未来のかたち

Her Philosophy

SHY FLOWER PROJECT代表

古橋 あや香

廃棄された花たちを救済して再生
「3本柱」で気持ちよく暮らす

#01

コピーライターとして活躍する一方、結婚式場やライブ会場などで出た廃棄花を回収して美しく再生させる「SHY FLOWER PROJECT」を運営、また2児のママとしても忙しい日々を送る古橋さん。

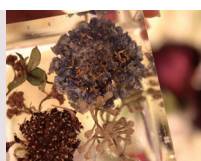
「前職のころ営業先のお花教室で、まだ咲いている花が生ゴミの中に無残に捨てられているのを見てしまっ。シヨックを受けたのがきっかけでした」
ルミネの環境推進プロジェクト「チョロコ」とワークショッップを共催するなど、活動は企業とのコラボがほとんど。エシカルだからといってシリ

アスになりすぎず、ポップに楽しく続けるのが信条。「だから、ミラーな気持ちを大切にしています。廃棄花という売れないアイドルを私が立ち直らせて輝かせるんだ！って」と笑う。そして、今後はみんなも気軽に自分のプロジェクトを持ったらいい、とも。

「仕事とプライベートだけだと自分の将来ばかりに目が向きがちだけど、そこに『社会のことも考える』という視点が加わると、それぞれで学んだことが別のものに生かせるようになる。仕事、家、社会の3本柱で、おのの気持ちよく暮らせたらいいなと思います」



PROFILE ふるはし・あやか 1985年生まれ。愛知県出身。コピーライター、CMプランナーとして広告制作に携わる。2012年、「助けてと叫ぶことの出来ないすべての花の為に」をコンセプトに「SHY FLOWER PROJECT」を立ち上げ、ディレクターを務める。SHY FLOWERとは廃棄花のこと。フジロックフェスティバル'17のNGOビレッジにフォトブースを出張予定。http://shyflowerproject.com/
PHOTO 1,2 SHY FLOWER PROJECTのプロダクト。イベントの企画としてメンバーの澤辺裕加さんがデザイン（今のところ常時販売はしていない）。3ドライフラワーにした廃棄花を使ってキャンドルを作るワークショッップの様子。好きな花を選んで器に入れ、溶かしろうを流し込む。このとき使用した花はメンバー NOBUKOさんの結婚式場と、電気グルーヴのコンサート会場から回収したもの。4 ニュウマン新宿の開店祝いに贈られた花も回収。捨てられずに生かされることを喜ぶ人の声が多く寄せられている。



4

「いま」という時代を生きるお客さまの思いに応えるために、ルミネは「ライフバリュープレゼンター」として、未来を輝かせ、自らも輝く女性を応援しています。

わたしらしくをあたらしく

LUMINE

Text: Kaori Shimura Photograph: Ittetsu Matsuoka (Portrait,1-3) Illustration: super-KIKI Design: Satoko Miyakoshi Edit: Sayuri Kobayashi Planning: AERA AD section